

## コープハウズ第3地区本部

7月11日(土)、生活文化センターホールで、「平和を願うつどい」を開催しました。地区平和企画委員会が企画運営するこの催しに187人が参加し、ピースメッセージ475枚が寄せられました。

つどいでは、賀川献身100年記念神戸プロジェクト・顧問 西義人氏を講師に「賀川豊彦と平和」わたしたちが受け継ぐもの」と題してお話をいただき、ノーベル賞候補に挙げられたほど「平和運動家」として



も知られている賀川豊彦の功績と理念を学びました。後半は、組合員が受け継いできた平和活動を映像で振り返った後、虹つ子平和スタディーツアーin沖縄に参加した山阿遥佳さん(小6)の報告を聞きました。「一番大切な命を犠牲にしてまでなぜ戦争をするの?」と問いかける遙佳さんの素直な言葉に、会場は深い共感に包まれました。

(ピースアクション委員 岩元正二)

## コープハウズ第4地区本部

平和運動にも力を注ぎ、世界平和を心から願った賀川豊彦。今年

が、賀川豊彦献身100年目にあたることもあり、その功績と理念を学ぶため、賀川豊彦の前半生を描いた映画「死線を越えて」賀川豊彦物語」の上映会とパネル展を行いました。8月17日の三木ブロック加西会場では121人、同じく協同学苑会場では172人と、多くの組合員が観賞し、「先人の努力があつて今



の世の中があると実感した」「生協の考え方がよくわかりました」などの感想が聞かれました。それぞれの会場ではパネル展も同時に開催し、パネルを熱心に見る組合員の姿が見られました。

9月13日(日)には「地球のステージ・ありがとうの物語」の上映会を開催する予定です。

(ピースアクション委員 鳩岡圭二)

## コープハウズ第5地区本部

7月20日(月)祝日にもかかわらず、コープカルチャー明石で開催された「平和のつどい」に、組合員・コープ委員・職員あわせて80名の参加がありました。

第一部は地区総代でもある陶山京子さんの「ユニセフフィリピンスタディー」の視察報告、第二部は「死線を越えて」賀川豊彦物語」の映画上映を行いました。その他、賀川豊彦のパネル展示、ロビーでは戦争中に使われた生活用品と虹つ



子平和スタディーツアーin沖縄に参加した子供たちの手作り新聞を展示しました。様々な角度から「平和」についての大切さを感じていただけたのではと思います。

(ピースアクション委員 岩本 衛)